

# 常陽3分法ファンド

&lt;3087&gt;

追加型投信／内外／資産複合

日経新聞掲載名：常陽3分法

第196期	2023年5月8日決算	第199期	2023年8月7日決算
第197期	2023年6月5日決算	第200期	2023年9月5日決算
第198期	2023年7月5日決算	第201期	2023年10月5日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、わが国の株式（茨城企業の株式）、海外のリート（不動産投資信託）および海外の公社債に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第201期末	基準価額	10,371円
	純資産総額	994百万円
第196期～第201期	騰落率	5.0%
	分配金合計	500円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

◇TKU0308720231005◇

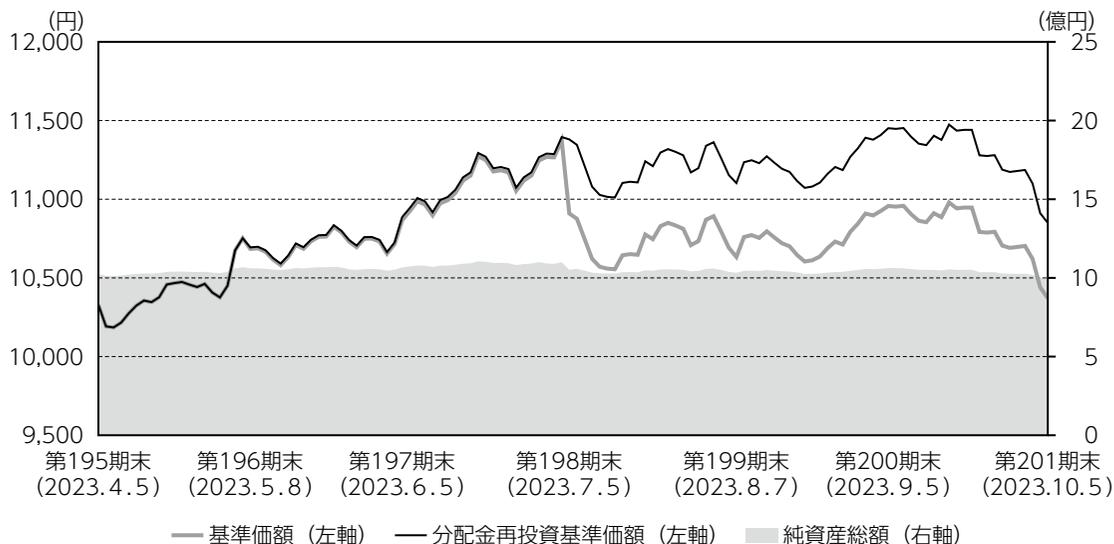
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第196期首：10,329円

第201期末：10,371円（既払分配金500円）

騰落率：5.0%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

「(FOFs専用) ダイワいばらきファンド（適格機関投資家専用）」、「ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド」、外債マザーファンドの受益証券への投資をほぼ3分の1ずつ行った結果、国内株式市況が上昇したことや、為替相場が円安に推移したことを受けて、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

#### 組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
(FOFs専用) ダイワいばらきファンド（適格機関投資家専用）	6.0%	32.7%
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	4.0%	32.6%
ダイワ高格付米ドル債マザーファンド	8.7%	11.6%
ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	3.7%	11.4%
ダイワ高格付英ポンド債マザーファンド	6.9%	11.4%

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第196期～第201期 (2023.4.6～2023.10.5)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	57円	0.529%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,756円です。
(投 信 会 社)	(24)	(0.228)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(29)	(0.274)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0.012	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
(投 資 証 券)	(1)	(0.012)	
有 価 証 券 取 引 税	1	0.009	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投 資 証 券)	(1)	(0.009)	
そ の 他 費 用	1	0.011	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	60	0.561	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

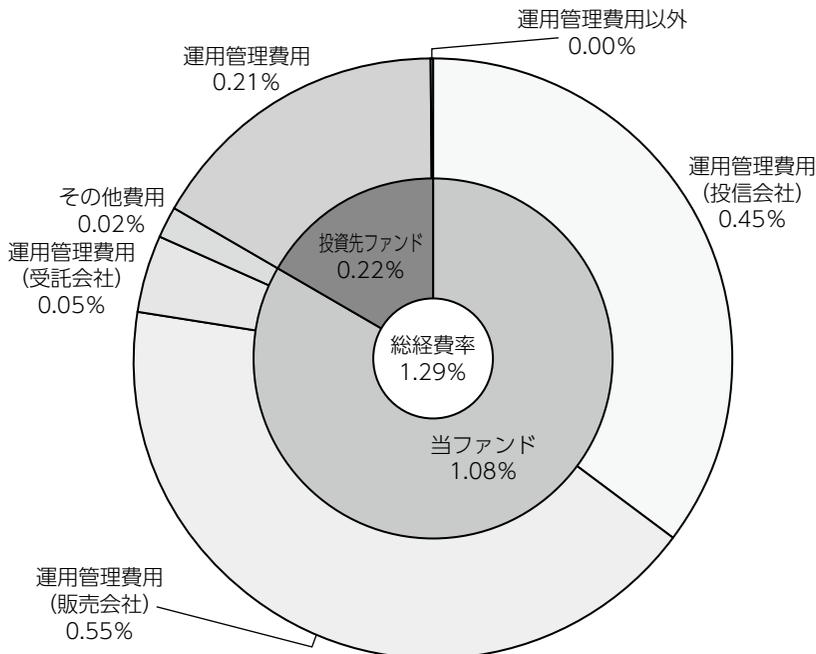
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.29%です。



総経費率 (①+②+③)	1.29%
①当ファンドの費用の比率	1.08%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.21%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

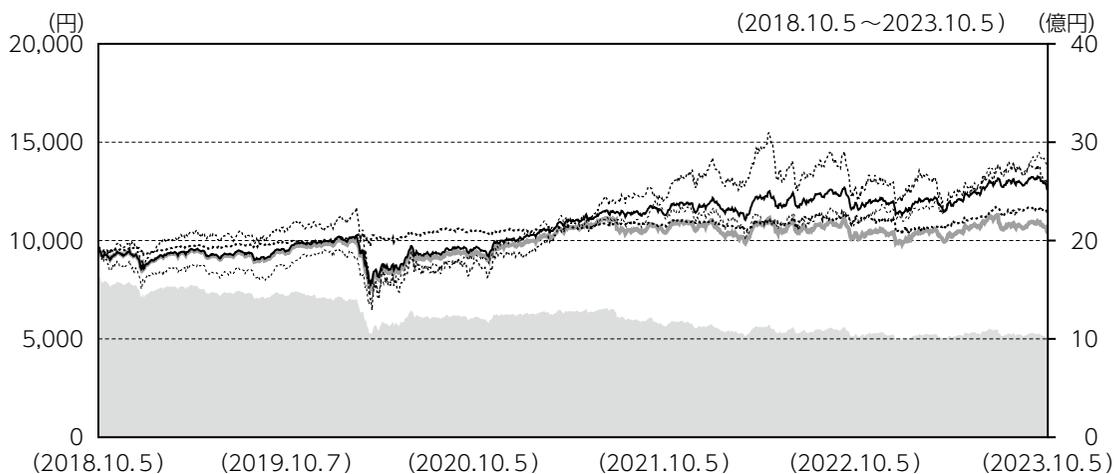
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



— 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸) ---- TOPIX (配当込み) (左軸)  
 - - - S & P 先進国 REIT 指数 (除く日本、税引後配当込み、円換算) (左軸)  
 - - - FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) (左軸) ■ 純資産総額 (右軸)

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年10月5日の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 参考指数は TOPIX (配当込み)、S & P 先進国 REIT 指数 (除く日本、税引後配当込み、円換算) および FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2018年10月5日 期初	2019年10月7日 決算日	2020年10月5日 決算日	2021年10月5日 決算日	2022年10月5日 決算日	2023年10月5日 決算日
基準価額 (円)	9,583	9,344	9,285	10,410	10,377	10,371
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	120	120	610	600	560
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△1.2	0.7	18.7	5.4	5.2
TOPIX (配当込み) 騰落率 (%)	—	△10.4	4.8	25.2	△0.8	19.3
S & P 先進国 REIT 指数 (除く日本、税引後配当込み、円換算) 騰落率 (%)	—	10.1	△16.6	37.1	5.8	△0.5
FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) 騰落率 (%)	—	3.1	5.8	2.7	4.1	2.3
純資産総額 (百万円)	1,640	1,436	1,209	1,129	1,049	994

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) TOPIX (配当込み) は、基準価額への反映を考慮して、前営業日の終値を採用しています。

(注3) S & P 先進国 REIT 指数 (除く日本、税引後配当込み、円換算) は、S & P 先進国 REIT 指数 (除く日本、税引後配当込み、米ドルベース) をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。

(注4) FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) 騰落率は、同指数の原データをもとに、大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注5) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注6) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

※参考指数の「S & P 先進国 REIT 指数 (除く日本、配当込み、円換算)」を「S & P 先進国 REIT 指数 (除く日本、税引後配当込み、円換算)」に変更しました。

## 投資環境について

(2023.4.6~2023.10.5)

### 国内株式市況

国内株式市況は上昇しました。

国内株式市況は、当作成期首より、経済活動正常化や供給制約解消により企業業績の回復が期待されたこと、日銀新総裁が金融緩和継続の方針を強調したこと、米国著名投資家の強気見通しにより海外投資家の資金が大量に流入したことなどから、大幅に上昇しました。2023年7月に入り、日銀の政策修正観測や米国における長期金利の上昇、中国の不動産大手の債務不履行懸念などから下落する場面もありましたが、8月半ばに発表された2023年4-6月期GDP（国内総生産）成長率が予想を上回る高い伸びとなったことなどが好感され、9月中旬にかけて再び上昇しました。その後、米国における長期金利の上昇や政府機関の閉鎖などが懸念されて反落し、当作成期末を迎えました。

### 海外リート市況

海外リート市況は下落しました。

海外リート市況は、当作成期首から2023年6月中旬にかけて、主要中央銀行の金融政策や米国の債務上限問題の動向に左右され、上下する展開となりました。その後は、米国におけるインフレ指標の鈍化を好感して上昇したものの、当作成期末にかけては、堅調な米国の経済指標やFOMC（米国連邦公開市場委員会）を受けた米国の金融引き締め長期化観測や米国金利の上昇が嫌気され、軟調に推移しました。

### 海外債券市況

#### ・米国

米国債券市場の金利は上昇（債券価格は下落）しました。

米国債券市況は、当作成期首より、米国の地方銀行の経営破綻に端を発する信用不安が後退したことや、経済指標が上振れたことなどを背景に早期の引き締め終了期待がはく落し、金利は上昇基調となりました。2023年6月には、FRB（米国連邦準備制度理事会）が政策金利の据え置きを発表したものの今後の政策金利見通しを引き上げたことなどから、金利上昇が継続しました。その後も、米国景気の先行き不透明感が後退して期待インフレ率が上昇したことや、国債の増発に伴う需給の悪化などが嫌気され、金利上昇基調が強まりました。

#### ・オーストラリア

オーストラリア債券市場の金利は上昇しました。

オーストラリア債券市況は、RBA（オーストラリア準備銀行）が据え置きとの市場予想に反して政策金利の引き上げを決定したことや、FOMC（米国連邦公開市場委員会）において今後の政策金利がこれまで想定されていたよりも高い水準で維持される可能性が示唆されたことなどから、金利は上昇しました。

## ・カナダ

カナダ債券市場の金利は上昇しました。

カナダ債券市況は、インフレ率が市場予想を上振れたことやカナダ銀行（中央銀行）が利上げを実施したことなどから、金利は上昇しました。また、先進各国で金融引き締め of 長期化観測が高まったことなども、金利の上昇要因となりました。

## ・英国

英国債券市場の金利は上昇しました。

英国債券市況は、当作成期首から、雇用統計やインフレ指標が強い結果となり、また2023年6月にはイングランド銀行（中央銀行）による0.5%の利上げが行われるなどして、7月上旬まで金利は上昇しました。その後、米国のインフレ率に続いて、英国のインフレ率も市場予想を下回ったことで利上げ期待が後退し、金利は低下（債券価格は上昇）しました。8月中旬には、米国で金融引き締めが長期化するとの懸念が高まったことで金利は上昇しましたが、各国のPMI（購買担当者指数）が弱い結果となったことを受けて、金利低下に転じました。その後9月に入ってから、失業率の上昇やインフレ指標の市場予想下振れを受けて金利は低下しましたが、9月後半から作成期末にかけては、米国金利の大きな金利上昇を受け、英国金利も上昇しました。

## ■為替相場

## ・米ドル

米ドルは対円で上昇（円安）しました。

当作成期首より、信用不安の後退や経済指標の上振れなどを背景に米国金利が上昇するに連れて、米ドルは対円で上昇基調となりました。2023年6月に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、米ドルは対円での上昇幅を拡大しました。その後は、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受けて米ドルは対円で下落（円高）する場面もありましたが、再度米国金利が上昇基調となると、円は弱含む展開となりました。

## ・豪ドル

豪ドルは対円で上昇しました。

R B A（オーストラリア準備銀行）が市場予想に反して政策金利の引き上げを決定したことや、米国の債務上限問題が解決し市場のリスク選好姿勢が強まったことなどから、円安豪ドル高となりました。

## ・カナダ・ドル

カナダ・ドルは対円で上昇しました。

インフレ率の上振れや利上げの実施などからカナダの金利が上昇したことで、カナダ・ドルは対円で上昇しました。また、主要産油国の減産延長などを受けて原油価格が上昇したことも、カナダ・ドルの上昇要因となりました。

・英ポンド

英ポンドは対円で上昇しました。

英国金利が上昇する中で、日本との金利差の拡大が意識され、英ポンドは対円で上昇しました。2023年9月に入ってから、イングランド銀行が利上げを停止したことで、日本との金利差拡大の意識が後退し、英ポンドは対円で下落しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「(FOFs専用) ダイワいばらきファンド(適格機関投資家専用)」、「ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド」、外債マザーファンドの受益証券へ信託財産の純資産総額の3分の1をめどに投資を行います。

外債マザーファンドにつきましては、5つのマザーファンドのうち、組入債券ポートフォリオの最終利回り上位の3つのファンドへそれぞれ純資産総額の9分の1をめどに投資を行います。

### ■(FOFs専用) ダイワいばらきファンド(適格機関投資家専用)

茨城マザーファンドの受益証券を組み入れ、信託財産の成長をめざします。茨城マザーファンドの運用につきましては、株式組入比率を高位に維持し、茨城企業の株式に投資を行っていく方針です。

### ■ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

安定的な配当利回りの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、C&Sに運用の指図にかかる権限を委託します。海外リートへの投資にあたっては、個別銘柄の投資価値を分析して、配当利回り、期待される成長性、割安度などを勘案し投資銘柄を選定し、分散投資を行います。

※C&S：コーヘン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インク

### ■ダイワ高格付米ドル債マザーファンド

今後も主として米ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの現状分析とそれらの見通しおよび金融市場動向を踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3(年)程度から5(年)程度でコントロールします。クレジットリスクについては、高格付銘柄でポートフォリオを構成する投資スタンスで臨みたいと考えています。

### ■ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3(年)程度から5(年)

程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

### ■ダイワ高格付英ポンド債マザーファンド

英ポンド建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。債券ポートフォリオの金利リスク（修正デュレーション）については、ファンダメンタルズや金融政策見通しなどに基づき、3（年）程度から5（年）程度の範囲でコントロールします。クレジットリスク面では、信用格付けが高い銘柄でポートフォリオを構築する方針です。

### ■ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。市場動向や経済環境に基づく金利見通しに従い、ポートフォリオの修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

### ■ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド

今後も主としてユーロ建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。債券ポートフォリオの金利変動リスク（修正デュレーション）については、ファンダメンタルズや金融政策見通しなどに基づき、3（年）程度から5（年）程度の範囲で対応する方針です。クレジットリスク面では、ユーロ圏各国の政情や経済・財政政策の動向などを注視し、信用力分析や市場分析を踏まえて、信用格付けが高い銘柄でポートフォリオを構築する方針です。

## ポートフォリオについて

(2023.4.6～2023.10.5)

### ■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「(FOFs専用)ダイワいばらきファンド(適格機関投資家専用)」、「ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド」、外債マザーファンドの受益証券への投資をほぼ3分の1ずつ行いました。

外債マザーファンドにつきましては、5つのマザーファンドのうち、「ダイワ高格付米ドル債マザーファンド」、「ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド」、「ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド」で運用をしておりましたが、2023年4月末における債券ポートフォリオの最終利回りを比較した結果、上位の3つのファンドである、「ダイワ高格付米ドル債マザーファンド」、「ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド」、「ダイワ高格付英ポンド債マザーファンド」への投資を行うこととし、第197期に「ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド」から「ダイワ高格付英ポンド債マザーファンド」への入れ替えを行いました。3つの外債マザーファンドの受益証券へは純資産総額のほぼ9分の1ずつ投資を行いました。

### ■ (FOFs専用) ダイワいばらきファンド (適格機関投資家専用)

「茨城マザーファンド」の受益証券をほぼ100%組み入れました。「茨城マザーファンド」につきましては、株式組入比率(株式先物を含む。)を高位に維持しました。個別銘柄は、茨城県内に本社またはこれに準ずるものを置いている企業の株式に対しては、時価総額に応じた投資比率で、茨城県に進出し雇用を創出している企業の株式に対しては、時価総額と県内従業員数など茨城県との関連度を考慮して銘柄選定を行い、それぞれの時価総額に応じた比率に一定の値を乗じた投資比率で組み入れを行いました。

### ■ ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、C&Sに運用の指図にかかる権限を委託しております。信託財産の中長期的な成長をめざし、保有不動産の価値や期待される成長性などと比べてリート価格が魅力的であるとする銘柄に着目するとともに、安定的な配当利回りの確保をめざしてポートフォリオを構築しました。国・地域別配分では、大きなリスクを取らず各地域に分散して投資を行いました。

### ■ ダイワ高格付米ドル債マザーファンド

米ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3(年)程度から5(年)程度の範囲内で運用しました。債券種別構成に関しては、国債や社債をポートフォリオの中心としました。為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

### ■ ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。ポートフォリオの修正デュレーションは、3(年)程度から5(年)程度の範囲内で運用しました。債券種別構成に関しては、非国債の組入比率を高めに保ちました。為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

### ■ ダイワ高格付英ポンド債マザーファンド

英ポンド建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3(年)程度から5(年)程度の範囲内で運用しました。債券種別構成に関しては、国債や社債の組入比率を高めに保ちました。為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

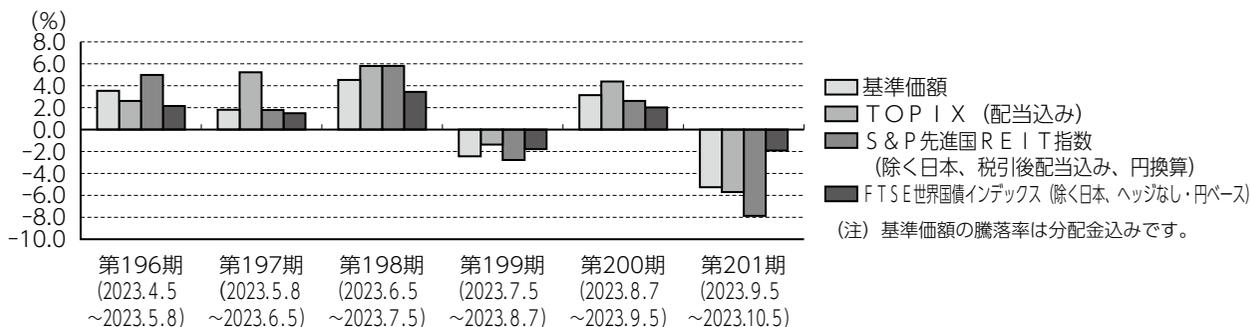
### ■ ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3(年)程度から5(年)程度の範囲内で運用しました。債券種別構成に関しては、カナダの州債の組入比率を高めに保ちました。為替に関しては、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保ちました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳(1万口当り)

項目	第196期	第197期	第198期	第199期	第200期	第201期
	2023年4月6日 ~2023年5月8日	2023年5月9日 ~2023年6月5日	2023年6月6日 ~2023年7月5日	2023年7月6日 ~2023年8月7日	2023年8月8日 ~2023年9月5日	2023年9月6日 ~2023年10月5日
当期分配金(税込み)(円)	10	10	450	10	10	10
対基準価額比率(%)	0.09	0.09	3.96	0.09	0.09	0.10
当期の収益(円)	10	10	450	6	10	10
当期の収益以外(円)	-	-	-	3	-	-
翌期繰越分配対象額(円)	1,123	1,266	1,307	1,303	1,357	1,360

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第196期	第197期	第198期	第199期	第200期	第201期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 16.26円	✓ 17.40円	✓ 31.22円	✓ 6.00円	✓ 19.39円	✓ 12.36円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	135.66	✓ 460.33	0.00	44.22	0.00
(c) 収益調整金	123.40	123.83	124.23	137.08	143.74	144.30
(d) 分配準備積立金	993.62	999.46	1,142.13	✓ 1,170.88	1,160.27	1,213.33
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,133.29	1,276.36	1,757.92	1,313.98	1,367.63	1,370.00
(f) 分配金	10.00	10.00	450.00	10.00	10.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,123.29	1,266.36	1,307.92	1,303.98	1,357.63	1,360.00

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「(FOFs専用) ダイワいばらきファンド (適格機関投資家専用)」、「ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド」、外債マザーファンドの受益証券へ信託財産の純資産総額の3分の1をめどに投資を行います。

外債マザーファンドにつきましては、5つのマザーファンドのうち、組入債券ポートフォリオの最終利回り上位の3つのファンドへそれぞれ純資産総額の9分の1をめどに投資を行います。

### ■(FOFs専用) ダイワいばらきファンド (適格機関投資家専用)

「茨城マザーファンド」の受益証券を組み入れ、信託財産の成長をめざします。「茨城マザーファンド」の運用につきましては、株式組入比率を高位に維持し、茨城企業の株式に投資を行っていく方針です。

### ■ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

安定的な配当利回りの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、C&Sに運用の指図にかかる権限を委託します。海外リートへの投資にあたっては、個別銘柄の投資価値を分析して、配当利回り、期待される成長性、割安度などを勘案し投資銘柄を選定し、分散投資を行います。

### ■ダイワ高格付米ドル債マザーファンド

今後も主として米ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの現状分析とそれらの見通しおよび金融市場動向を踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3(年)程度から5(年)程度でコントロールします。クレジットリスクについては、高格付銘柄でポートフォリオを構成する投資スタンスで臨みたいと考えています。

### ■ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建て資産の投資比率を高位に保つ方針です。

### ■ダイワ高格付英ポンド債マザーファンド

英ポンド建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。債券ポートフォリオの金利リスク（修正デュレーション）については、ファンダメンタルズや金融政策見通しなどに基づき、3（年）程度から5（年）程度の範囲でコントロールします。クレジットリスク面では、信用格付けが高い銘柄でポートフォリオを構築する方針です。

### ■ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。市場動向や経済環境に基づく金利見通しに従い、ポートフォリオの修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、カナダ・ドル建て資産の投資比率を高位に保つ方針です。

### ■ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド

今後も主としてユーロ建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。債券ポートフォリオの金利変動リスク（修正デュレーション）については、ファンダメンタルズや金融政策見通しなどに基づき、3（年）程度から5（年）程度の範囲で対応する方針です。クレジットリスク面では、ユーロ圏各国の政情や経済・財政政策の動向などを注視し、信用力分析や市場分析を踏まえて、信用格付けが高い銘柄でポートフォリオを構築する方針です。



## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限（設定日：2007年1月19日）	
運用方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	下記の各ファンドの受益証券（振替受益権を含みます。以下同じ。）
	(FOfs専用) ダイワいばらきファンド（適格機関投資家専用）	茨城マザーファンドの受益証券
	ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	海外の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）および店頭登録（登録予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券
	ダイワ高格付米ドル債マザーファンド	米ドル建ての公社債等および短期金融商品
	ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	豪ドル建ての公社債等および短期金融商品
	ダイワ高格付英ポンド債マザーファンド	英ポンド建ての公社債等および短期金融商品
	ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド	カナダ・ドル建ての公社債等および短期金融商品
ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド	ユーロ建ての公社債等および短期金融商品	
当ファンドの運用方法	①主として複数の投資信託証券を通じて、国内株式、海外の不動産投資信託証券および海外の公社債に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
	②各投資信託証券の組入比率については、下記の標準組入比率をめどに投資を行ないます。ただし、市場規模等によっては、組入比率を変更することがあります。 (FOfs専用) ダイワいばらきファンド（適格機関投資家専用）の受益証券…信託財産の純資産総額の3分の1 ダイワ・グローバルREIT・マザーファンドの受益証券…信託財産の純資産総額の3分の1 ダイワ高格付米ドル債マザーファンドの受益証券…※(A) ダイワ高格付豪ドル債マザーファンドの受益証券…※(B) ダイワ高格付英ポンド債マザーファンドの受益証券…※(C) ダイワ高格付カナダドル債マザーファンドの受益証券…※(D) ダイワ高格付ユーロ債マザーファンドの受益証券…※(E) ※(A)、(B)、(C)、(D)、(E)のうち、3つのファンド（以下「外債マザーファンド」といいます。）の受益証券にそれぞれ信託財産の純資産総額の9分の1 ③外債マザーファンドの選定にあたっては、(A)、(B)、(C)、(D)、(E)の5つのファンドのポートフォリオの最終利回りを参考とし、最終利回り上位の3つのファンドの受益証券に投資することをめざします。投資対象とする外債マザーファンドは、半年ごとに見直しを行ないます。 ④保有実質外債資産について、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。1月と7月の計算期末については、今後の安定分配を継続するための分配原資の水準を考慮し、分配対象額の中から基準価額水準に応じて委託会社が決定する額を、上記継続分配相当額に付加して分配する場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

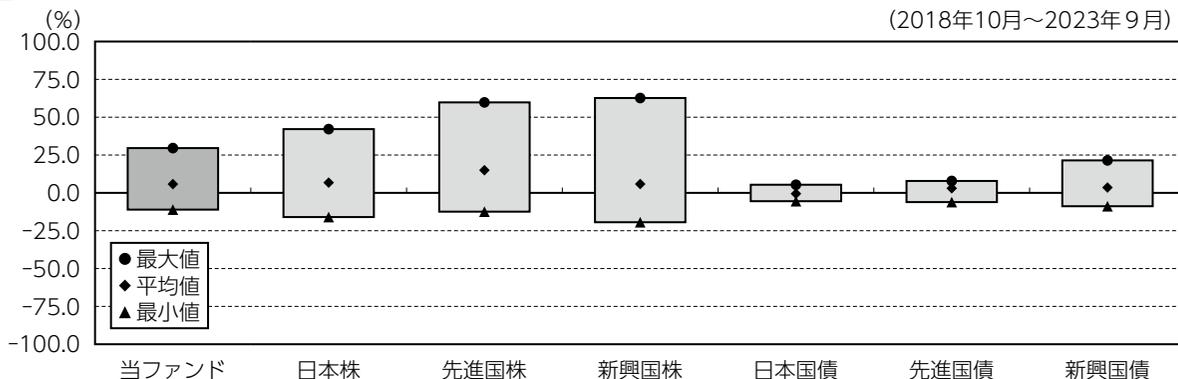
配当込みTOPIX（本書類における「TOPIX（配当込み）」をいう。）の指数値及び同指数に係る標準又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び同指数に係る標準又は商標に関するすべての権利はJ P Xが有する。J P Xは、同指数の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負わない。当ファンドは、J P Xにより提供、保証又は販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負わない。

FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

S & P先進国REIT指数（除く日本）はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJ I」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S&P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup>およびCDX<sup>®</sup>は、S&P Global, Inc.またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones<sup>®</sup>は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJ Iに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。常陽3分法ファンドは、SPDJ I、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P先進国REIT指数（除く日本）のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	29.6	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
平均値	5.8	6.8	15.0	5.9	△0.6	3.0	3.5
最小値	△11.1	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J.P.X総研または株式会社J.P.X総研の関連会社（以下「J.P.X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ.P.Xが有します。J.P.Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



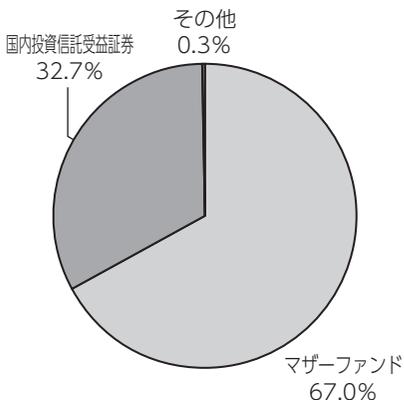
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

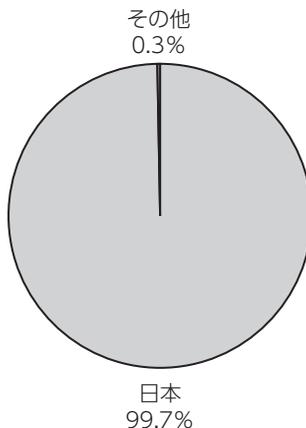
### 組入ファンド等

	比率
(FOFs専用) ダイワいばらきファンド (適格機関投資家専用)	32.7%
ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド	32.6
ダイワ高格付米ドル債マザーファンド	11.6
ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	11.4
ダイワ高格付英ポンド債マザーファンド	11.4
その他	0.3

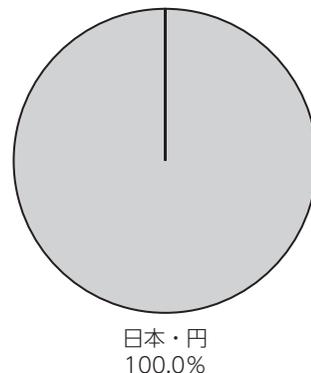
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2023年10月5日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項 目	第196期末	第197期末	第198期末	第199期末	第200期末	第201期末
	2023年5月8日	2023年6月5日	2023年7月5日	2023年8月7日	2023年9月5日	2023年10月5日
純資産総額	1,061,039,642円	1,066,950,694円	1,051,596,527円	1,032,394,914円	1,062,427,632円	994,709,920円
受益権総口数	993,126,640口	981,807,787口	963,988,417口	970,898,344口	969,608,695口	959,115,526口
1万口当り基準価額	10,684円	10,867円	10,909円	10,633円	10,957円	10,371円

\* 当作成期間 (第196期～第201期) 中における追加設定元本額は17,526,317円、同解約元本額は51,382,319円です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

## 組入上位ファンドの概要

## ◆ (FOFs専用) ダイワいばらきファンド (適格機関投資家専用)

(作成対象期間 2022年7月30日～2023年7月31日)

## ■ 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

## ■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2022.7.30~2023.7.31)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	91円	0.630%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は14,479円です。
(投 信 会 社)	(80)	(0.553)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(2)	(0.011)	販売会社分は、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(10)	(0.066)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	0	0.001	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.005	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	92	0.637	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

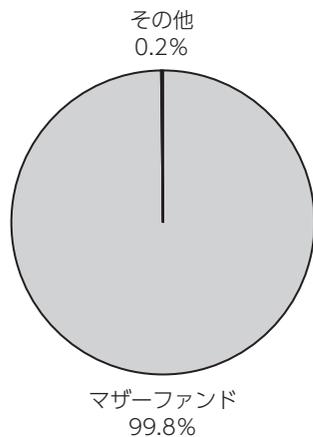
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

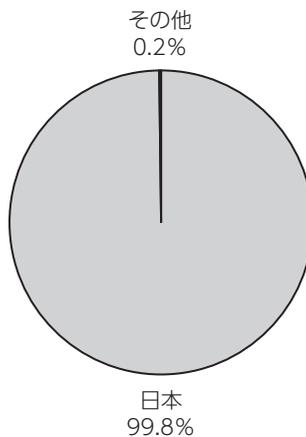
## ■組入ファンド等

	比率
茨城マザーファンド	99.8%
その他	0.2

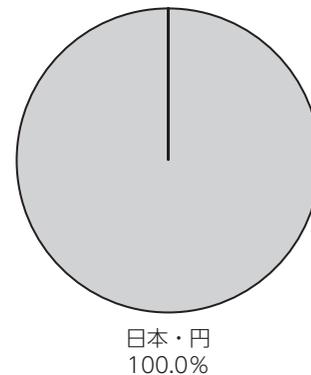
## ■資産別配分



## ■国別配分



## ■通貨別配分



(注1) 上記データは2023年7月31日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

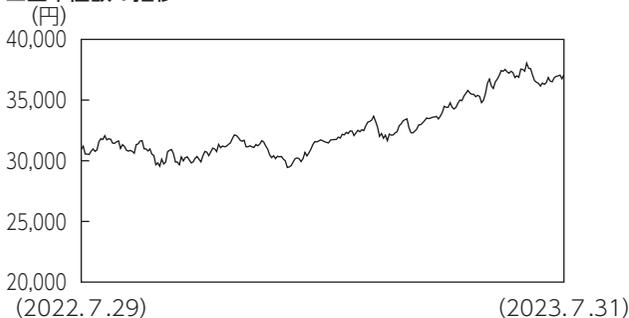
(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。

※以下のファンドは（FOFs専用）ダイワいばらきファンド（適格機関投資家専用）が組み入れているファンドです。

◆茨城マザーファンド（作成対象期間 2022年7月30日～2023年7月31日）

■基準価額の推移



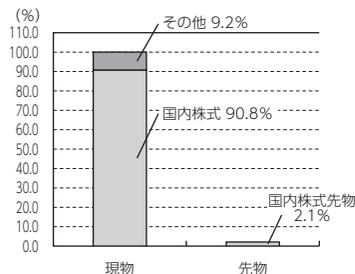
■1万口当りの費用の明細

項	目	
売買委託手数料 (先物・オプション)		0円 (0)
有価証券取引税		-
その他費用		-
合	計	0

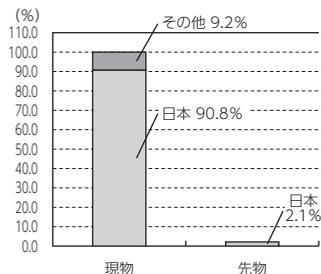
■組入上位銘柄

銘柄名	比率
信越化学	7.6%
日立	7.0
ダイキン工業	6.7
セブン&アイ・HLDGS	4.2
SMC	3.9
キャノン	3.9
ファナック	3.5
日本たばこ産業	3.4
小松製作所	3.1
アステラス製薬	3.0
組入銘柄数	81銘柄 (先物含む)

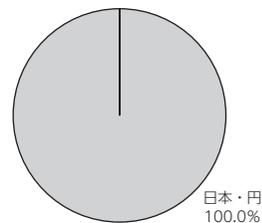
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

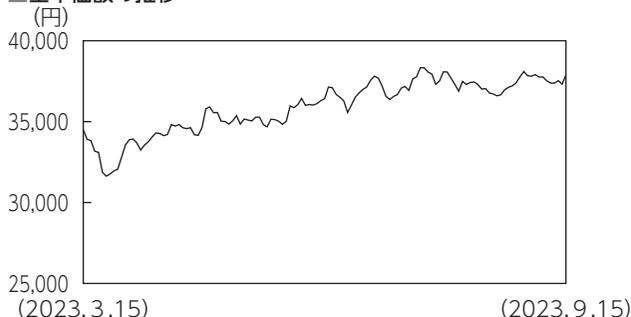
(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

◆ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド（作成対象期間 2023年3月16日～2023年9月15日）

■基準価額の推移



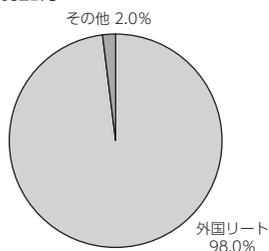
■1万口当りの費用の明細

項目	
売買委託手数料 (投資証券)	14円 (14)
有価証券取引税 (投資証券)	11 (11)
その他費用 (保管費用) (その他)	4 (4) (0)
合計	28

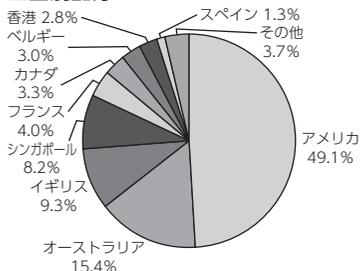
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
GOODMAN GROUP	オーストラリア・ドル	5.6%
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	4.7%
WELLTOWER INC	アメリカ・ドル	4.4%
SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	4.0%
INVITATION HOMES INC	アメリカ・ドル	3.8%
DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ・ドル	3.7%
REALTY INCOME CORP	アメリカ・ドル	3.2%
LINK REIT	香港・ドル	2.8%
EQUINIX INC	アメリカ・ドル	2.6%
PARKWAYLIFE REAL ESTATE	シンガポール・ドル	2.3%
組入銘柄数		68銘柄

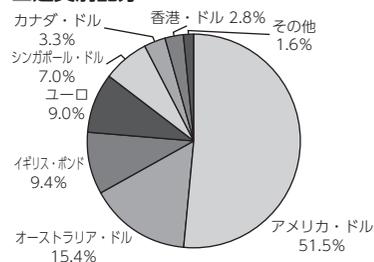
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

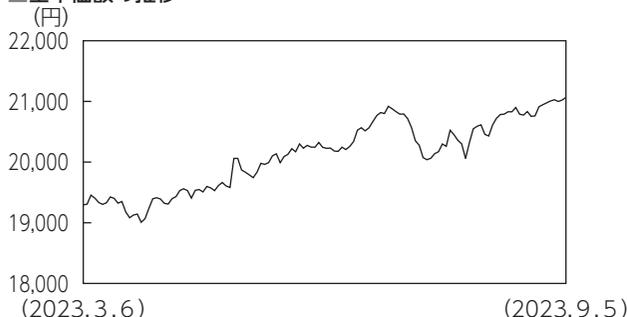
(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

◆ダイワ高格付米ドル債マザーファンド（作成対象期間 2023年3月7日～2023年9月5日）

■基準価額の推移



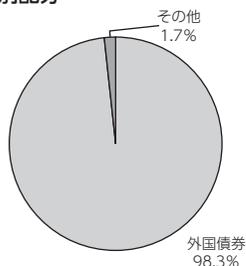
■1万口当りの費用の明細

項目	
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)
合計	1

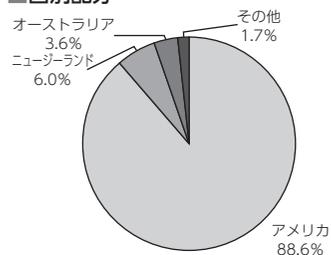
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 3.5% 2028/4/30	アメリカ・ドル	12.4%
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 3.5% 2030/4/30	アメリカ・ドル	9.9
United States Treasury Note/Bond 2.625% 2025/3/31	アメリカ・ドル	9.0
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 4.125% 2027/10/31	アメリカ・ドル	8.9
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 3.25% 2029/6/30	アメリカ・ドル	7.6
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 3.5% 2030/1/31	アメリカ・ドル	7.3
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 4.125% 2032/11/15	アメリカ・ドル	5.5
Westpac Banking Corp 2.7% 2026/8/19	アメリカ・ドル	3.6
GINNIE MAE II POOL MA8800 5.0% 2053/4/20	アメリカ・ドル	3.2
City of New York NY 5.985% 2036/12/1	アメリカ・ドル	3.2
組入銘柄数	30銘柄	

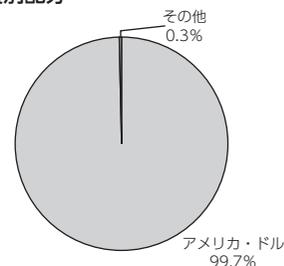
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

# Memo

大和アセットマネジメント

---

Daiwa Asset Management